

平成 26 年度 第 1 回中部ブロック研修会 議事録

■日時：2014 年 5 月 11 日（日） 9：30～12：00

■場所：男女共同参画センター あざれあ 第 5 研修室

■参加者：18 名 ※東部地区 1 名を含む

■内容 業務相談・症例相談

9:00～9:30 受付

9:30～10:20 <前半>

①『写真での表出を目指している脳性マヒ児の症例』 静岡医療福祉センター 原田佑未さん

②『嚥下障害のアプローチ～嚥下関連筋群を中心に～』 焼津市立総合病院 山田享史さん

10:20～10:30 休憩

10:30～11:20 <後半>

③『胃ろう造設後経口摂取を進めている症例』 静岡医療福祉センター 橋本潤子さん

11:20～12:00 研修内容の検討、連絡事項など



前半はテーマ①と②で 2 グループに分かれて行い、後半はテーマ③について全員で輪になって意見交換をしました。

テーマ①③は小児の症例であり、成人分野の参加者にとっては、知らない語句があったり、検査結果の解釈を含め症例の把握が難しい部分がありました。しかし、成人分野に共通する問題提起をして下さり、①では認知・知能の低下がある人に対するアプローチ、③では胃ろう造設後、誤嚥のリスクがある状態でお楽しみの経口摂取を行う際にどう進めるか、等について全員で話し合うことができました。

テーマ②では主に成人の方への頸部や体幹など姿勢に関する嚥下訓練について話し合いました。少人数だったこともあり、実際に行っている訓練、PT や OT との連携について参加者全員から様々な意見が出ました。更に各自が勉強会で得た訓練方法や知識についての発表も行い、内容がひろがった話し合いになりました。

* 次回の中部ブロック研修会について

- ・引き続き相談会の形式で実施してみる。小児・成人両分野からテーマを挙げる。
- ・今回・前回のように入名だけ告知するのではなく、話し合う内容も知らせる。

次回中部ブロック研修会の予定

日時：2014年12月14日(日)9:30～12:00 場所：あざれあ 第2研修室

内容：業務相談／症例相談 ※詳細は改めて連絡致します

中部ブロック研修会 アンケート結果

【アンケート結果 13/18枚】

① 参加した感想

「よかった」：13人 「まあまあ」：0人 「よくなかった」：0人

⇒ “様々な方と話げできた、他分野の話も聞けたから” は9名、“話しやすい環境だったから” は2名

- 色々な話を自由にできたことがよかったです。
- 他の分野の先生の話も自分と関係していることが多くあったので来てよかった。話しやすい環境だった。
- 先生方の話し合いを聞いて色々な内容に広がっていったので、とても興味深い話を聞くことができました。

など

② 内容について

「とても勉強になった」：12人 「まあまあ」：1人 「あまり参考にならなかった」：0人

- 臨床の取り組みの違いはあるものの、STとして持つ知識や考え方に共通することを実感できて大変よかった。
- 症例に対してどのようなことを行っていくのかについて聞いて良かった。
- 視点を増やすことが大切だということを再確認できた。
- 手技についての具体的な話がなかったため、内容が薄かったように感じた。手技についての話を聞きたかった。しかし、知らないところも多く勉強になった。

③ 取り上げてほしいテーマや情報

- 嚥下、呼吸、コミュニケーションの訓練
- 参加者を増やす方法として、このアンケートを活用するのはいかがでしょうか。
- 摂食嚥下機能療法、他職種との連携、報告書の作成、口腔ケアなどの各施設の取り組み
- VFの実施方法(同室するDrとの連携、検査食の内容)
- 吸引、呼吸リハ、排痰
- SLTAからの評価

④ 個人や勤務先で行っている勉強会や講習会や患者の会などの情報、参加したい勉強会

- 認知機能低下予防の集団訓練
- 吸引の手技とリスク管理
- 呼吸リハ